

平成30年度事業

教育委員会の事務に関する  
点検評価報告書

令和元年8月

男鹿市教育委員会

## 《 目 次 》

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の方法	1
3	学識経験者の知見の活用	2
4	教育委員会会議の開催状況	2
5	教育委員会会議の審議状況	2
6	教育委員会会議以外の活動状況	4
7	平成30年度重点事業の点検・評価	5
	<b>I 【教育環境の整備】</b>	
	（1） コミュニティ・スクール推進事業	5
	（2） 小中学校学習環境整備事業	6
	<b>II 【地域間交流の機会充実と推進】</b>	
	（1） 男鹿・春日井市児童交流学習事業	7
	<b>III 【生涯学習の推進】</b>	
	（1） 明日を創る新成人の集い	8

## 1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正(平成20年4月1日施行)され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が、男鹿市総合計画に基づく重点事業の取り組み状況について点検、評価を行い、課題の方向性を明らかにすることにより、教育行政の一層の推進と市民への説明責任を果たしていくために、平成30年度に執行した事業について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに市民の皆様公表するものです。

## 2 点検・評価の方法

本市教育委員会は、毎年度、教育目標を掲げ、その目標の実現に向けた重点事業を実施しており、これらの事業を対象に教育委員会自らが事務の執行状況について、点検・評価を実施したものです。

なお、令和元年度の点検・評価は、平成30年度事業を対象に実施しました。

<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)</p> <p>(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)</p> <p>第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p>
--

男鹿市教育長・教育委員名簿 (平成30年度在籍)

職名	氏名
教育長	栗森 貢
教育長職務代理者	目黒 恵子
委員	吉田 貴美子
委員	安田 一彦
委員	小玉 亜紀子 (5/23～)
委員	角崎 紘二 (～5/22)

### 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 26 条第 2 項で、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることが求められておりますので、本市教育委員会では、教育に関し学識経験を有する次の方から、意見をいただきました。

○ 浅井繁樹氏

### 4 教育委員会会議の開催状況

開催日	会議	場所
H30. 5. 29	第 3 回教育委員会会議	市役所 3 階第 1 会議室
H30. 8. 21	第 4 回教育委員会会議	市役所 3 階第 1 会議室
H30. 11. 13	第 5 回教育委員会会議	市役所 3 階第 1 会議室
H30. 12. 20	第 6 回教育委員会会議	市役所 3 階第 1 会議室
H31. 2. 12	第 1 回教育委員会会議	市役所 3 階第 1 会議室
H31. 3. 19	第 2 回教育委員会会議	市役所 3 階第 3 会議室

### 5 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条及び「男鹿市教育委員会事務委任規則」第 2 条の規定に基づき、平成 30 年度は議案 15 件の審議と、報告事項等 17 件、合計で 29 件を取り扱いました。

#### (1) 議会の議決を経る議案に関する意見の申し出に関すること。 8 件

- 平成 30 年度教育費 6 月補正予算 9 月補正予算 12 月補正予算 3 月補正予算
- 平成 31 年度教育費 当初予算
- 条例
  - ・男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正を改正する条例について
  - ・男鹿市立図書館条例の一部を改正する条例について
  - ・男鹿市奨学資金貸与に関する条例の一部改正について

#### (2) 教育委員会規則の制定及び改廃及び一部改正に関すること。 5 件

- 男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正に伴う規則の廃止について
- 男鹿市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正に伴う規則の一部改正について
- 男鹿市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
- 男鹿市スクールバス運行管理規程の一部改正について
- 男鹿市指定文化財の指定について

**(3) 教育施策の基本方針の決定に関すること。** **2件**

○平成 31 年度学校教育の基本方針（案）及び重点目標と努力事項（案）について

○平成 31 年度生涯学習の重点目標と施策の方向（案）について

**(4) 教職員、事務局職員等の人事に関すること。** **1件**

○平成 30 年度末職員の人事異動について

**(5) 報 告 事 項 等** **8件**

○平成 31 年度使用「中学校教科用図書『特別の教科 道徳』」及び「小学校 道徳を除く全種目」の選定について

○平成 30 年度全国学力・学習状況調査について

○明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）について

○平成 29 年度教育委員会の事務に関する点検評価報告書について（2回）

○市議会定例会での一般質問等について（教育委員会関係）（4件）

**合 計 24件**

## 6 教育委員会会議以外の活動状況

### ① 入学式（入園式）

月	日	学 校 名
H30.	4. 6	男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校
H30.	4. 9	船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校
H30.	4. 10	若美幼稚園

### ② 卒業式（卒園式）

月	日	学 校 名
H31.	3. 7	若美幼稚園
H31.	3. 8	男鹿南中学校、男鹿北中学校、男鹿東中学校、潟西中学校、
H31.	3. 15	船川第一小学校、脇本第一小学校、船越小学校、北陽小学校 払戸小学校、美里小学校

### ③学校訪問

月	日	学 校 名
H30. 5.	31	払戸小学校、脇本第一小学校
H30. 6.	5	船越小学校
H30. 7.	3	男鹿東中学校
H30. 7.	10	美里小学校、潟西中学校
H30. 7.	12	船川第一小学校、男鹿南中学校
H30. 7.	19	北陽小学校、男鹿北中学校

## 7. 平成30年度重点事業の点検・評価

### I 【教育環境の整備】

#### (1) コミュニティ・スクール推進事業

方針・目標	市内小・中学校に「学校運営協議会」を設置し、学校・地域・家庭が一体となって学校をサポートする取組を推進し、地域に開かれた学校づくりを支援する。
目標値	<p>コミュニティ・スクールに関するアンケートを実施。次の設問についての4段階評価で目標値を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの成果について（3. 2）</li> <li>・コミュニティ・スクールが地域住民に周知できている（2. 5）</li> </ul>
事務事業の実績	<p>平成28年4月に市内全小・中学校を一斉にコミュニティ・スクールに指定した。各校においては、10～13名で構成される「学校運営協議会」を設置し、年4～5回実施した。</p> <p>各校では、地域と合同での避難訓練や防災教室の開催、野菜の栽培活動、施設等への訪問活動、奉仕活動、伝統文化学習など多様な実践が見られた。</p> <p>学校運営協議会会長と副会長、校長と教頭を対象にしたCS情報交換会を9月、2月の年2回開催し、他校の実践に触れ、課題等について話し合う機会とした。 ○事業費 1,675,000円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明)</p> <p>○アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの成果について（3. 3）</li> <li>・コミュニティ・スクールが地域住民に周知できている（2. 9）</li> </ul>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組)</p> <p>平成30年度は指定最終年（3年目）となり、これまでの実績を踏まえ各校の取組が進められた。今後も、保護者及び地域住民への周知を進め、取組を拡充していく必要がある。</p>
教育委員評価	<p>全市事業3年目として、各学校での活動も地域に定着し、地域人材の発掘など、より成熟した取り組みがされている。</p> <p>これからも小中学校の連携を図り、情報交換や開催時期を考えながら、学校と地域が一体となり事業を深め、取り組みを継続していただきたい。</p>
学識経験者意見	<p>小中学生が本事業の一環として活動していることを理解して、自らが保護者や家族に伝えるようになれば何よりである。また、教育委員会が重点と考えているのであればこそ、更なる充実のためにあえて問題点・課題を見つけ改善していく必要はないだろうか。</p>

# I 【教育環境の整備】

## (2) 小中学校学習環境整備事業

方針・目標	安全安心な学校環境整備を推進するため、トイレの洋式化等の工事を実施し、適切な教育環境の実現を図る。
目標値	市内 10 校トイレ洋式化率➡100%
事務事業の実績	<p>◎船越小学校トイレ改修工事 (H30 年 6 月 25 日着工～H30 年 8 月 29 日完成) 事業費 1,140,480 円 改修工事 (2 階男子 1 基・女子 2 基、3 階男子 1 基・女子 1 基)</p> <p>◎潟西中学校トイレ改修工事 (H30 年 6 月 25 日着工～H30 年 8 月 24 日完成) 事業費 1,242,000 円 改修工事 (屋内運動場女子 1 基、校舎 1 階男子 1 基、女子 1 基、2 階男子 1 基、女子 2 基)</p> <p>※市内 10 校トイレ洋式化率 68.1.0%➡70.9%</p> <p>◎男鹿南中学校屋内運動場屋上防水改修工事 (H30 年 5 月 28 日着工～H30 年 8 月 31 日完成) 事業費 39,420,000 円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>(説明) 児童の安全を配慮しながら、工期の中で順調に工事を進めることができ、安全な学校生活を送るための整備を図ることができた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>(具体的な課題及び取組) H31 年度は男鹿南中学校の防水工事を継続し、財政状況を見極めながら、児童・生徒の安全安心な教育環境の整備を図る。</p>
教育委員評価	トイレの洋式化や防水改修工事により児童生徒の安心な学校生活環境の整備が図られている。避難所にもなる機能も考え、工事の安全に配慮しながら継続的に学校施設の環境整備を行ってほしい。
学識経験者意見	計画的に事業を進めているが、小中学校からの学習環境整備の要望はトイレの洋式化や防水改修工事にとどまらず多岐にわたっていると思われるので、予算措置ができるのであれば学校からの要望が叶うよう最大限の努力をお願いしたい。



## II 【地域間交流の機会充実と国際交流の推進】

### (1) 男鹿市・春日井市児童交流学習事業

方針・目標	昭和62年から始まった本事業は、平成30年度で32回（男鹿市児童の春日井訪問は29回）を数える。両市の代表児童が、3泊4日の日程で相互に訪問し、交流校における学習会、ホームステイ、市長表敬訪問、文化・歴史施設等において宿泊体験学習を実施する。
目標値	<p>①体験活動や交流会に楽しく参加して友情を深めるとともに、思いやりの心を積極的に態度で表すことができるようにする。</p> <p>②多くの友人や人との交流に際し、進んであいさつするとともに、相手や場に応じた言葉づかいや行動ができるようにする。</p> <p>③交流先の文化遺産、自然等にふれ、改めてふるさとについて考えを深めることができるようにする。</p>
事務事業の実績	<p>平成30年度は春日井市訪問団（春日市児童37名、引率6名）が平成30年8月3日～6日に来市した。市長表敬訪問、北陽小児童との交流会、本市児童宅でのホームステイを実施し、両市の児童が体験活動を通して交流を深めた。その他、五里合中石梨畑、男鹿市ジオパーク学習センター、なまはげ館・なまはげ伝承館などを見学し、秋田・男鹿の自然と文化を体験する活動が展開された。</p> <p>男鹿市訪問団（男鹿市児童18名、引率4名）が平成30年10月19日～22日に春日井市を訪問した。春日井市立丸田小及び藤山台小においての交流学習、市長表敬訪問、児童宅でのホームステイ、春日井まつり、犬山城や明治村などの歴史施設・産業施設見学を実施した。訪問交流校では、本市代表児童による秋田・男鹿の文化・歴史・自然等についての発表や、伝統行事「なまはげ」の実演など、訪問の目的に沿った活動が展開された。</p> <p>事業費 1,998,000円</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る</p> <p><input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る</p> <p>（説明）</p> <p>訪問児童は、見学先において、代表的な産業や歴史について学ぶとともに、ホームステイや交流校における人々とのふれあいを通して、人と人とのつながりやふるさと秋田・男鹿について見つめ直す機会となった。訪問後に、交流学習の記録を男鹿市交流学習感想文集「春日井の思い出」にまとめた。</p>
点検による事業の課題	<p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>継続 <input type="checkbox"/>廃止検討 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>（具体的な課題及び取組）</p> <p>学校数（春日井市37校、男鹿市6校）の差が広がり、本市でのホームステイ受け入れ家庭の確保が困難となっている。</p>
教育委員評価	<p>ホームステイの受け入れの負担はあるが、児童の成長には大きな効果が期待できる。お互いの地域の魅力を認め合いながら、十分に交流を深め、ふるさとの良さを感じ、男鹿の将来を考えられる人への成長を促す事業として、今後も継続してほしい。</p>
学識経験者意見	<p>両市の長い交流の歴史があり継続していくべき意義深い事業である。事業の目標というべき「体験」「交流」「ふるさと」の観点からみて、本筋を外さず社会の変化に合わせて事業を遂行していただきたい。たとえば、ホームステイ受け入れ家庭の確保は以前から課題となっているが、多くの友人や人との「交流」の観点から、ホームステイは必須であろう。</p>

### Ⅲ【生涯学習の推進】

#### (1) 明日を創る新成人の集い（男鹿市成人式）

方針・目標	成人を迎えた市民の成人としての自覚と責任感を高揚するとともに、明日の男鹿を担う世代の限らない発展を願い、新成人としての門出を祝福するために開催する。
目標値	新成人より構成される実行委員とともに、新成人を激励し、明日への活力を生み出せるような成人式を実施する。
事務事業の実績	日 時：平成 31 年 1 月 13 日（日）13：00～ 会 場：男鹿市民文化会館 大ホール 参加数：177 人（新成人） 決 算：582,696 円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る  （説 明） ・式典では、「市民憲章唱和」、「新成人代表挨拶」を行い、新成人の集いでは最後に「新成人誓いの言葉」を行うことによって、新成人としての自覚を促し、厳かな雰囲気の中で、新成人を激励することができた。 ・8 名の実行委員とともにクイズ形式のアトラクション部分を作成。実行委員以外の新成人からの参加も得て、より一体感のある成人式を行うことができた。
点検による事業の課題	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> その他  （具体的な課題及び取組） 引き続き新成人より実行委員を募り、自らの手で成人式を創り上げることで、明日を創る新成人の士気を高める。
教育委員評価	地域ごとの新成人の代表者が主体の実行委員会で企画し、各中学校の思い出、出来事に触れ、お互いの成長を確認し合い、成人としての自覚を促すことができる式典・行事である。家族参加も温かい雰囲気、心に残る成人式となるよう皆で充実、お祝いをしていきたい。
学識経験者意見	新成人が実行委員会形式で自らの成人式を計画・実行し、参加者の共感を得て落ち着いた成人式が挙行されていると思われる。内容や開始日時などのアンケート等を出席者に実施しているのであれば、検証をきちんと行い、次年度に向けてより良い方法・在り方を検討してほしい。